

# かながわ畜産まめ知識

## 乳用牛の品種

日本では、次の5品種が乳用牛として利用されています。

参考「畜産ハンドブック」／講談社  
「家畜改良関係資料」／中央畜産会

### ①ホルスタイン種



オランダ原産の大型の牛です。毛色は黒（茶色の場合も）と白の斑文で、全黒に近いものから全白に近いものまで様々です。性格は温厚で、寒さには強いが暑さには弱いです。乳量は、年間7,000～10,000kg程度と多く、乳用牛として優れています。雌の成牛は、体重が600～700kg、体高（肩の高さ）が140～150cm、体長（おしりから胸まで）が170cm程度

### ②ジャージー種

英仏海峡のジャージー島原産の小型の牛です。毛色は、白に近い淡褐色から黒っぽい濃褐色まで様々です。性格はやや神経質で、比較的暑さにも強いです。乳量は年間4,000kg程度ですが、牛乳は乳脂肪率が高く、バターへの生産に適しています。



### ③ブラウンスイス種

スイス原産の中型の牛です。毛色は灰褐色の乳肉兼用種です。性格は温厚で、頑丈です。乳量は、年間4,800kg程度で、牛乳はたん白質が多くチーズの加工に適しています。

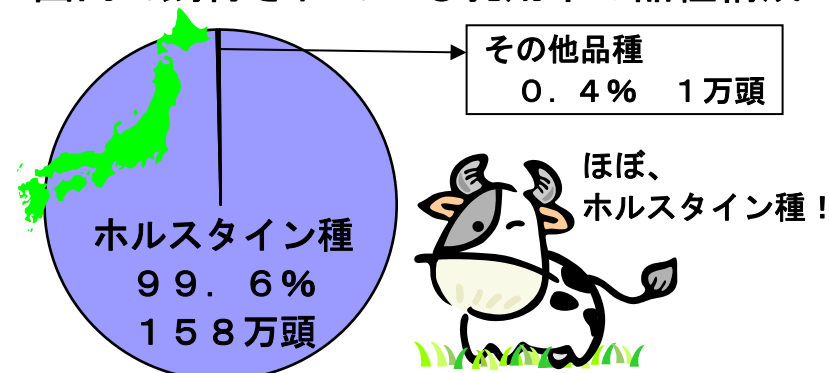
### ④エアシャー種

イギリス原産の中型の牛です。毛色は赤と白の斑文で、体質は強健で、環境適応性に優れています。乳量は、年間4,500kg程度で、牛乳はたん白質が多くチーズの加工に適しています。

### ⑤ガンジー種

英仏海峡のガンジー島原産の小型の牛です。毛色は淡黄色あるいは赤色に白の斑文で様々です。性格は、ジャージーほど神経質でなく、環境に対する適応性が高いです。乳量は年間4,000kg程度ですが、牛乳は乳脂率が高く、風味がよいのが特徴です。

### 国内で飼育されている乳用牛の品種構成



### 県内で飼育されている乳用牛の品種構成

